

えびす昔かたり

江戸時代の西宮神社の様子を
御社用日記を紐解き、紹介致します。

【御社用日記】

元禄7年から現存する西宮神社の神主が代々書き綴ってきた日記で、
兵庫県と西宮市の重要文化財に指定されています。

解説

国の重要文化財に指定されており
ます、当社の表大門は朱塗建造物のため
通称『赤門』と呼ばれています。

豊臣秀頼公の寄進によって建てられ、
戦災や阪神大震災の際も難をまぬが
れて現在に至ります。

貞享2年(1685)にはすでに赤門と呼ば
れていた記録がありますが、そこから
約40年間は修理・塗装の記録がない
為、朱塗りが落ちていたものと考え
られます。

その後記録には残っていませんが20
年から30年毎に塗り直しが行われて
いた可能性が高く、近年では令和
2年に大規模な修繕・塗り直しが行わ
れました。

元々は赤い門であったので、
落書きを洗い落して元の通り赤く塗り直しました。

享保七年(一七二二)十月十一日

神社の表門の屋根の修理が終わり、



表大門

祭典暦 令和6年10月

1	火	10:00	旬祭	仮本殿
5	土	10:00	宮水まつり 併せ えべっさんの酒醸造祈願祭	宮水発祥地
10	木	10:00	旬祭	仮本殿
		11:00	沖恵美酒神社月次祭 招福縁日 十日市開催	境内末社
16	水	10:30	御神影頒布始祭	仮本殿
17	木	10:00	神嘗奉祝祭	仮本殿
20	日	10:00	旬祭	仮本殿

10/27 日 手作り市開催

道しるべ



いかりを絶ち 暈りを棄て、
人の違えるを怒らざれ
—聖徳太子「憲法十七条」




えびす宮 総本社
西宮神社



〒662-0974 兵庫県西宮市杜家町1-17
Tel 0798-33-0321 Fax 0798-33-5355
<https://nishinomiya-ebisu.com>

Follow Me

 西宮神社 公式 Instagram
@nishinomiya_ebisu_official



令和六年
十月行事ご案内



大練塀

言霊 ことだま



言葉には魂が宿っており、その力が働いて、良い意味の言葉を発すれば良いことが起こり、悪い意味の言葉を発すれば悪いことが起こると言われ、古来より日本では、私たちの話す言葉、この言葉自体に魂が宿っていると信じられてきました。「万葉集」には、「しきしまの大和の国は言霊の幸わう国ぞま幸くありこそ」という歌があり、

日本国は言葉の力で幸せになっている国という意味です。

現代でもお祝いの席で「別れる」「離れる」「切れる」等、縁起の悪い言葉を「忌み言葉」として使いません。言葉をはじめに聞き取るのは自分です。言葉の大切さを改めて意識し、「前向きな言葉」から「より良い行動」へ導き、幸福をより受けられますようお祈り申し上げます。

スマホで聴ける

言霊おみくじ ことだま

初穂料 **300円**

○別途通信料が発生します。○別途おみくじの中のQRコードを読み込むと再生画面にPLAYボタンが表示されます。再生が終了すると、再生回数がカウントされます。3回お聴き頂けます。

七五三詣

お子様の健やかなご成長を祈願して

平日は祈禱殿にて受付奉仕致しますが、10月末から11月の土・日・祝日は仮殿と祈禱殿にて奉仕致します。数え年、満年齢どちらでも承りますので、福の神えびすさまにお参り頂き、お子様が日々健康にご成長されますようお祈り下さい。



また、10月末から11月23日には西宮菊花協会の皆様が大切に育ててこられた、菊花の展覧会が開催されます。大輪の菊の花を背景にお子様の晴れ姿を撮影頂けますのでどうぞご覧下さい。

受付時間	9:00~16:30		
ご祈禱料	1人 5,000円	2人(兄弟姉妹) 8,000円	3人(兄弟姉妹) 10,000円



御神影頒布始祭

10/16 水 10:30 齋行

おみえみだ
御神影札の頒布は、江戸時代に幕府より「日本国中像札賦与御免」を仰せ渡されて、今年で361年の年月が経ちます。古来より多くの皆様にえびすさまの御神徳を広めるため、全国各地へ御神影札を頒布してまいりました。



この祭典は御神影札の伝統を未来に継承・発展させていくように祈りを込め齋行しております。



当日は当社の宮司・神職が調製した手摺りの御神影を神前に供え遷霊致します。皆様かえびすさまとより深いご神縁を結ばれ、一層福々しい日々を過ごされますようどうぞおまつり下さい。

御神影札は各一体500円で授与しております。

